

# しせいがい

Shiseikai

夏の号

vol.74  
2015.8

## Contents

- 第28回志誠会医学会
- 陽光館 接遇アンケート
- 就労訓練現場から地域へ貢献・交流・発信
- 作業療法便りVol.5
- この夏のありんくりん

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiwahsp/>



## 第28回 志誠会医学会

去った6月25日に第28回志誠会医学会を開催しました。今年のテーマは「今、時代の精神科急性期治療を問う」～早期介入と再発予防～」。日々の業務から取り組んだ研究論文を元に、活発な質疑応答が行われ有意義な時間となりました。特別講演には琉球大学大学院 精神病態医学講座 教授 近藤毅先生をお招きし「うつ状態」で外来を訪れる成人自閉症スペクトラム障害の臨床的特徴」と題して講演して頂きました。今年の優秀論文賞は陽光館施設長 小渡皐月「志誠会における肥満の現状」、特別論文賞に平和病院作業療法課 久保田翔「慢性期統合失調症患者への姿勢改善アプローチ」がそれぞれ選ばれました。以下に優秀論文賞をご紹介します。

### 志誠会における肥満の現状 (一部抜粋)

陽光館施設長 小渡皐月

近年、沖縄県では肥満の増加傾向に対して危機感を持ち、メディアが率先して「イチキロヘラス」運動のスローガンを掲げ、キャンペーンを行っています。肥満は志誠会においても例外ではなく、今回、年に1回の健康診断の結果から肥満度の基準となるBMI (Body mass index)=体重(kg)÷[身長(m)]<sup>2</sup>を測定しました。

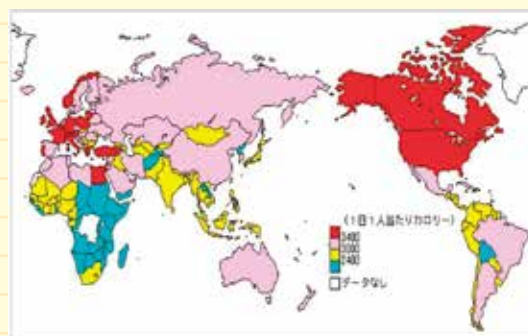
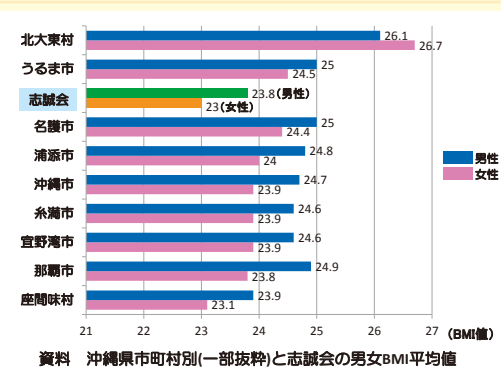
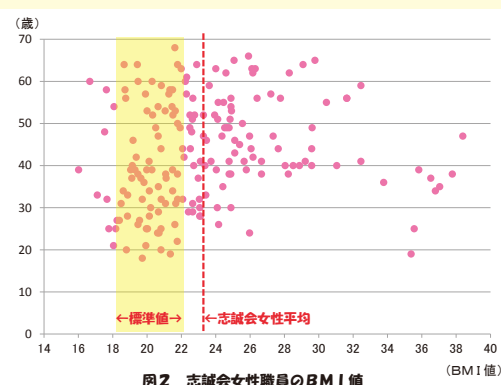
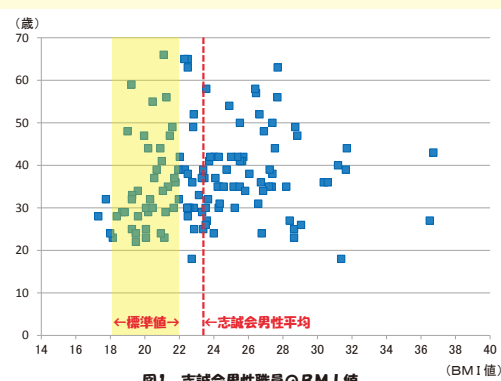
図1、図2は志誠会の男女別職員のBMI分布を示し、縦軸は年齢、横軸はBMI値、黄色枠はBMI標準体重(理想体重)を示しています。男性職員126名中、BMI 22以上は81名で64.2%、またBMI 25以上は81名中42名で33.3%でした(図1)。女性職員207名中、BMI 22以上は115名で55.5%、またBMI 25以上は115名中52名で25.1%でした(図2)。

赤い点線は志誠会職員のBMIの平均値で、男性職員のBMI平均値は23.8、女性職員は23.6と標準体重(理想体重)を示しました。しかし総合評価としては男性職員の64.2%が標準体重を上回っており、3人に2人が肥満傾向、また女性職員の55.5%が標準体重を上回り2人に1人は肥満傾向であるという結果でした。さらに全職員333名中、BMI 25以上が94名と予想以上にかなり多くを占める結果になりました。また県市町村と志誠会のBMIの比較を資料に示しました。

図3で示しているように、欧米は1日摂取カロリーが3400カロリーと高く、アジア諸国は2600カロリーと低いが、WHO(世界保健機関)は70億人余りの世界の人口のうち15億人以上が太りすぎであると警鐘を鳴らしています。

現在の沖縄の食生活は戦後のアメリカ文化の影響が大きく、外食やファストフードの利用等、共働きや子供が多いことも影響して食の簡便化が進んでいます。また車社会による運動不足や、酒社会・夜社会のため生活習慣の乱れや飲酒や喫煙の多さが目立ち、こうした要因が肥満の実態に直接結びついていると思われます。

日本は団塊の世代が65歳以上となった現在、高齢化に伴う医療費の増大で国の財政は逼迫しています。根幹の社会保障が揺らぐ現状を鑑みて様々な疾患を引き起こす肥満に正面から向き合っていかなければならず、個々に肥満を認識しその予防に取り組まなければならないと思います。



# 陽光館接遇アンケート

陽光館サービス向上委員会では平成 26 年 12 月～ 27 年 2 月までの間、接遇推進キャンペーンと称して職員の接遇強化を行いました。キャンペーン終了後には、入所者・利用者とそのご家族の接遇に関する満足度を把握し職員の接遇向上に反映させることを目的にアンケートを実施しました

アンケート実施期間：平成 27 年 4 月 10 日～ 4 月 30 日

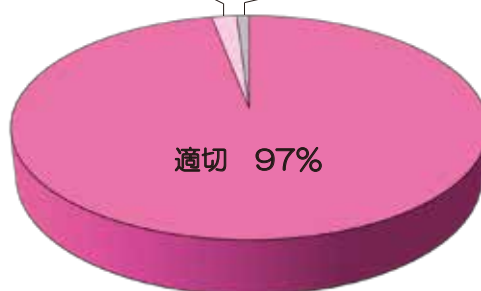
Q1. 職員からの挨拶・声かけはありますか？

できていない 1% 未回答 3%



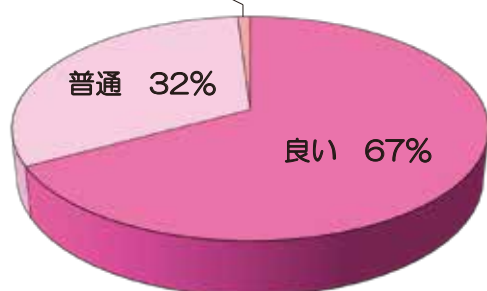
Q2. 職員の身だしなみは適切ですか？

適切ではない 2% 未回答 1%



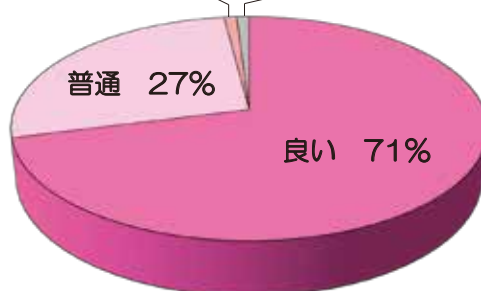
Q3. 職員の言葉使いは良いですか？

悪い 1% 未回答 0%



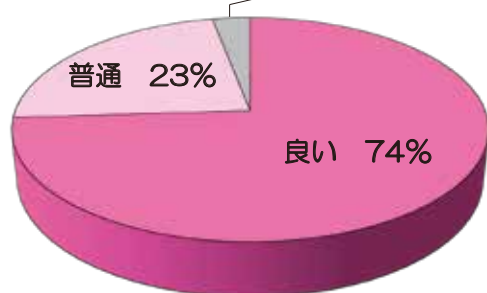
Q4. 職員の態度は良いですか？

悪い 1% 未回答 1%



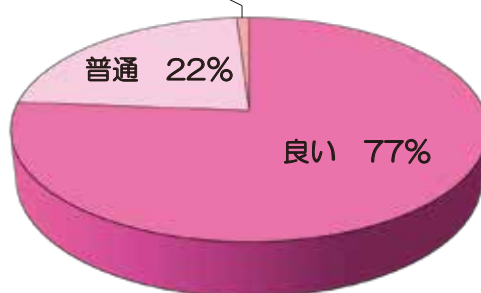
Q5. 職員の電話対応は良いですか？

悪い 0% 未回答 3%



Q6. 当施設を利用して満足していますか？

悪い 1% 未回答 0%



アンケートの結果より、Q6の施設利用の満足度では「良い」「普通」という高評価をいただきました。しかし職員の接遇面ではQ1「挨拶、声かけ」では1%、Q2「身だしなみ」では2%、Q3「言葉使い」では1%、Q4「態度」では1%と「できていない」「悪い」と回答があったことは看過できないことであり、改善に向け職員教育に取り組んでいきたいと思います。

今回のアンケート実施に際しまして、多くのご意見を下さり誠にありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見、ご要望を参考によりきめ細やかで期待にそえるサービス体制を確立し、ご利用者はじめ関係者皆様のお役に立てるよう頑張っておりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



# 地域へ! 貢献☆交流☆発信!!



## 具志川商業高校より 就労訓練実習生来たる!!!

現在、平和病院の敷地内には就労訓練を目的とした『就労訓練工場しせいかい』があります。「食品加工工場」、「パン工場」、「麺工場」といった食品製造に携わる訓練から、「喫茶店」での調理や接客の訓練、「農場」での野菜作りなど生産から接客まで幅広く展開しており、個人個人の適性に合わせてその人が輝く現場を提供しています。

日々就労訓練に取り組んでいる現場に、具志川商業高校よりインターンシップが実現! 学生のみなさんと共に汗を流す機会に恵まれました。具志川商業高校では毎年多くの企業や事業所・店舗で実習を実施しているのですが、去年『具商デパート』に『しせいかい』から出店したこともあり、生徒さんから実習先として要望の声があったとのこと。私たちも病院の敷地内に工場



喫茶『ガーデンクレス』にて接客中!



『オレンジワークス』でコーレーグース製造中。



農場指導員とともに☆



実習を終えて。みなさん、満面の笑顔がステキです

があり、商品の生産から販売まで網羅している就労現場やそこで働く人々をもっと地域に知ってもらいたい、若い世代にアピールしたい! という思いがあり、今回の実習に至りました。

現在、食品加工工場『オレンジワークス』ではコーレーグースを筆頭商品にドライフルーツも製造、県外にも出荷しています。パン工場『スターベーカーリー』では20種類以上のパンを1000個以上毎日出荷、麺工場『めんくい』ではにんじん麺やいぐさ麺といった従来の沖縄そばの枠を超えためん作りに挑戦中。喫茶店『ガーデンクレス』は他企業と連携を取り共同で商品開発を行ったり、各種イベントに積極的に出店。農場で育てた野菜はイオンやカネヒデなど大手スーパーの棚に陳列されるなど大きな展開を見せています。ではどういった人たちがこれらの業績を支えているのでしょうか。実習に来てくれた学生さんたちに『しせいかい』ではどんな人たちが就

労訓練に取り組んでいるのか、オリエンテーションを行っています。商業科ということで、精神科に馴染みのない分野ということもあり当初、「病院、というのは知っていたけど、どんな様子かあまり想像していなかった」と話していた学生さんたちが、同じ現場に入り協力して作業を行う中で、「普通の人と同じ」「違和感ぜんぜん感じなかった」「誰が患者さんか見てもわからない」といった声から「何を言ってるかわからない時があった」「歩き方が少し気になる」といった意見まで率直に伝えてくれました。

2日間の実習で伝えられることはわずかもありませんが、実際に共に働き協力しあう中で、漠然としたイメージではなく、体験・経験としての精神科理解・啓蒙のきっかけになれば、と願っています。

# 就労訓練現場から

## リハビリ士企業努力！社会復帰！

『しせいかい』の食品加工工場『オレンジワックス』では今年の年明けから看板商品のコーレーグースに加えて新たにマンゴー、パイン、たんかん、スターフルーツの4種類のドライフルーツの製造が始まっています。うるま市の商品開発セミナーを受講したことを機に周囲への認知度・人脈が広がり、ドライフルーツ製造の道が開かれることとなりました。現在、東京や大阪など県外の大手高級デパートや那覇空港に出荷販売されています。

「福祉の施設がそこまで本格的に企業のように前に出る必要があるのか？」「リハビリが最優先なのでは？」という声が内外から聞こえることもあります。しかし福祉を飛び出して外部と繋がることで、利用者はシビアな評価を得、社会人としての責任を担う体験ができます。今後「リハビリと企業経営は社会復帰の両輪」との思いで精進していきます。

一つ一つ、手作りで進める  
ドライフルーツ作り。



沖縄県産のドライマンゴーは  
県外で大人気！▶



## 祝。『琉球新報』掲載☆

『しせいかい』が擁する就労訓練工場『グリーンファーム』より訓練メンバーの一人、丘原昌功さんが琉球新報に掲載されました！グリーンファームで働くことになるまでの経緯や、就労の様子を描かれています。

平和病院内にはさまざまな就労現場や宿泊施設がありますが、地域の皆さんはご存じでしょうか？そこに住んでいる人や、就労訓練に取り組んでいる人たちがどんなことを考え、日々暮らしているのか。近くて遠い、遠くて近い、地域の方々に知っていただけるきっかけになれば、と思います。



琉球新報提供 2015年5月23日付け



## 桜邸。ボランティアグループ 始動！！

2015年7月、宿泊型自立訓練施設『桜邸』より「地域の一員として、地域に根ざした活動がしたい！」という思いのもとでボランティアグループを結成、上江洲区を中心に活動していくこととなりました。

上江洲区の自治会や会長も快く受け入れてくださり、夏祭りに向けて公民館の美化活動など必要な活動の協力依頼をしてくださしました。

先日は施設のボランティアメンバー数名で公民館を訪れ、上江洲区で発行している広報誌の折り込み作業のお手伝いをさせていただきました。

まだまだ未知数で自分達になにができるか、なにが必要なのかも手探りですが、社会参加・社会貢献を目指して、小さな一歩を上江洲区からスタートします！

折り込み作業を行ったチラシ。





## 『休む』リハビリ

入院されたばかりの患者さんは、妄想や幻覚が活発で様々な考えやアイディアが次から次へと浮かび、眠れなかったり上手く休めなかったり…あるいは、喜怒哀楽のコントロールがきかずちょっとした事で怒ってしまったり泣き出したり、時には一方的なお喋りが止まらなかったりします。

こういった不安定な状態を“亜急性期”または“急性期”と呼びます。現在の精神科ではこのような時期からリハビリが有効だと言われており、平和病院の急性期病棟でも早期リハビリが実践されています。普通リハビリと言えば、「集中力をつけよう」「人と上手く話できるようになろう」など、目標を持って“頑張ること”をイメージするかもしれませんが。ですが急性期なら話は別。リハビリは必ずしも目標を達成したり能力をつけるために頑張ることだけではありません。



神里 菜月

### 『上手に休息すること』『安心して過ごせること』の大切さ…。

まず“落ち着いて物を考えられるようになる”といった、人としての軸になる部分を取り戻すことが真っ先に必要になります。そのためには、程よい休息をとり、日々安心して過ごせるようになることが大切なのです。ところが、急性期の患者さんに「何もしないで何も考えないで、休んでみて下さい。」と声をかけても、なかなか上手く休めません。一体どうやってリハビリをしながら上手に休むのでしょうか？こういった場面では、作業を用いた『作業療法』と呼ばれるリハビリが力を発揮します。実際に私が関わった患者さんのケースを紹介します。

#### Aさん 女性 統合失調症 →用いた作業『ストレッチ体操』

常に喋っていて落ち着きがなく、話の途中でも歌い始めたり軽口を言い始めたりして全く会話が成り立ちません。そこで、「一緒にストレッチしましょう。」と誘いました。余計な刺激がはいらないよう向かい合って。「私と一緒にゆっくり数えて下さい。」と、ストレッチの最中、数を数えてもらいます。「いーち、にーい・・・」。Aさんが何か話そうとしても「あとで聞きますから、今は数えて下さいね。」と制します。つまり、ここでのストレッチは『一定のゆっくりとしたリズムで数を数える作業』です。Aさんは約15分間、ゆっくりと、そして落ち着いた表情でストレッチ体操を行う事ができました。

#### Bさん 男性 統合失調症 →用いた作業『ペン字』

被害妄想があるためにケンカごしに話すこともあります。「何かやりたいことは？」と尋ねると、ブツブツ早口で独り言の様につぶやいた後、「手紙を書こうかな。」と一言。手紙だと考えながら書くので休息になりません。Bさんが上手く頭を休める為に、私はペン字を勧めました。それも、単純なひらがなやカタカナを模写するだけのもの。つまり、『自分で考えて書くのではなく、隣にある文字をなぞって写す作業』です。Bさんは約30分、静かに書写に取り組むことができました。

#### Cさん 女性 統合失調症 →用いた作業『糸巻き』

仕事や家のこと、幻聴のこと。全てゴチャまぜで色々な話をします。そうかと思うと、話の途中で、「あれ？自分何を言ってるんですかね。意味わかります？」などと話の收拾もつきません。

ふわふわ、ぼんやりしていて夢をみているみたいなトロンとした表情で、現実感もないCさん。

私はCさんに声をかけ、編み物を手でひっぱってほどこき、ほどこいた毛糸をまるめる作業をしてもらいました。「編み物」「毛糸」を自分の手でひっぱってほどこく。ブツブツブツ…と毛糸がほどこける心地よい感覚。さらに両手でグルグル巻く。作業が進むと、きれいな毛糸の玉が完成。“自分がやったんだ”と実感できる作業です。Cさんはリハビリの時間中、淡々と作業に取り組んでいました。

患者さんの多くは、自分で自分をコントロールすることができません。そこで、私たち作業療法士は作業に集中してもらう事で自分自身をコントロールしてもらいます。つまり、作業を用いて「上手に休む」「安心して過ごす」ことをリハビリするのです。私は、これからも色々な作業のもつ特性を活かして、患者さんに上手に休んでもらう道具にしていきたいと思っています。

# この夏の **ありんくりん**

## 夏休み体験ボランティア

7月27日(月)、毎年恒例のうるま市社会福祉協議会主催の夏休み体験ボランティアを受け入れました。今回は高江洲中学校から2名、石川中学校から1名の生徒に参加していただきました。利用者の方々も中学生ボランティアの皆さんを笑顔で迎えてくれて、一緒にレクをするなど楽しい一時を過ごして頂きました。ボランティアとして手伝いに来てくれることはとても助かります。今後もこのような活動を通して地域の方々とのふれあい、地域交流を深めていきたいと思っています。



## 医業経営研鑽会 施設見学ツアー



去った6月20日に、医業経営研鑽会会員10名が東京より施設見学に訪れました。医業経営研鑽会は、当法人会計顧問である西岡秀樹税理士

が会長を務め、医業経営コンサルタントを本業としている税理士、行政書士、公認会計士等で作られている会です。

今回は他府県の病院ではなかなか見られないという就労訓練工場の施設見学を中心に、工場で作られている商品の販売ノウハウや喫茶店運営、障害福祉サービスの流れ等について学ぶため訪れました。

施設見学後には意見交換会を行いました。後日参加された会員の方々から「精神科病院に対する見方が変わった」「就労訓練工場がとにかく素晴らしく、採算に乗せた工賃を出す取組みに驚いた」「福祉に甘えることのない一般企業並みの運営と最新かつ高度な医療を両立させるという経営姿勢に感銘をうけた」等、多くの感想を頂きました。また今回の施設見学で得た経験を今後の病院経営コンサルタント業務に取り入れ、正確な知識、高い見識及び社会的責任感を持って日本の医療の質的向上に貢献していきたいと報告がありました。

## 情報ポケット

## ～入局しました～



4月から関口先生の後任として、大阪のさわ病院より赴任しました。関西で心理学を専攻し大学院に在学中何を思ったか医大へ再入学。山口

**中北真由美 先生** 県の大学病院精神科に入局し、白い巨塔よろしくこころの医療センターや県立総合病院の精神科、果ては東京の都立病院へ移動を命じられ、ずっと精神科救急の現場にいました。初めて自分の希望で赴任したさわ病院も精神科救急で殺伐としてますが、一転今回こちらへ来させてもらえる事になり、今までと違った環境で勤務できるのを楽しみに来ました。1年間という短い期間ですが、病院内だけでなく病院外も含め沖縄生活についていろいろ教えていただけると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

## 沖縄高等特別支援学校より 実習生来る!!

去った6月8日～12日の4日間、特別支援学校の2年生2名、就労訓練の実習に来て、しせいかいの就労現場を体験されています。食品加工、パンや麺の製造、カフェ、介護体験と生産の現場から接客・販売、利用者ケアまで多種多様な就労訓練現場を実際に体験することで自分の志向や得手不得手を感じてもらおう一助となったと思います。

また受け入れ側としても自ら周囲と馴染もうとする姿勢や、礼儀正しさ、衛生面での気配りなど、学生さんたちから多くの刺激と示唆をいただきました。

今後も門戸を広げつつ、これからの担う若い人材と、交流を続けていきたいと思っています。



実習生よりお礼状いただきました



精神科・心療内科・内科

## 平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 急性期治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイ・ケア

受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00

日・祝祭日は休診（木曜は新患受付行っておりません。）

電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地



介護老人保健施設

## 陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ デイケアセンター陽光館 ☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館  
☐ 居宅介護支援事業所陽光館 ☐ 短期入所療養施設陽光館  
☐ 認知症グループホームあおば邸 ☐ 高齢者相談センター具志川ひがし

受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館

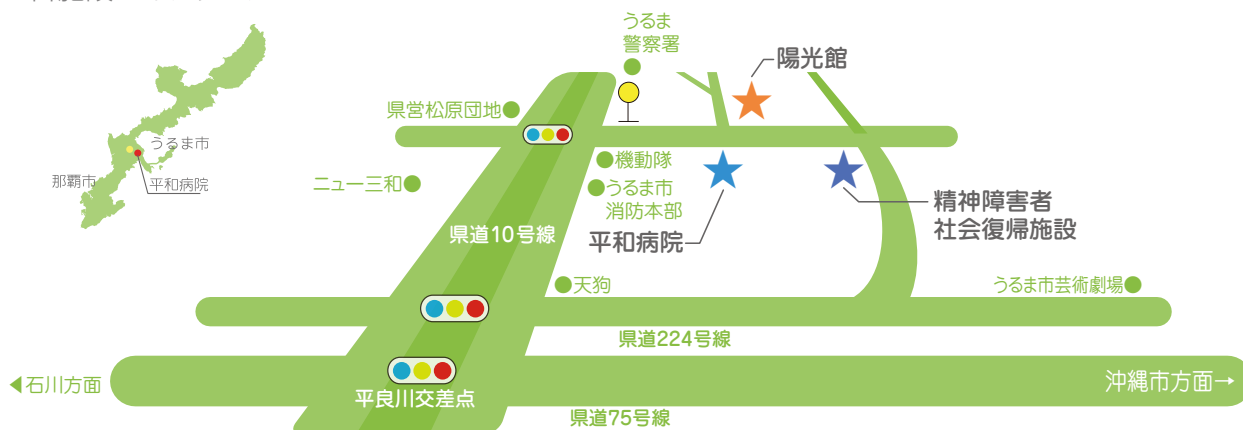
電話：098-974-4000 住所：うるま市字上江洲661番地



## 精神障害者社会復帰施設

☐ グループホームしせいがい（外部サービス利用型共同生活援助）  
☐ 自立訓練事業所しせいがい（宿泊型自立訓練・生活訓練）  
☐ 就労訓練工場しせいがい（多機能型）（就労移行支援・就労継続支援B型）

### 各施設へのアクセス



## 編集後記

今年は台風と猛暑が繰り返して来襲していて、とても厳しい夏になっています。平和病院の庭の木々も毎月の様に台風で葉を飛ばされてしまい、遠目に見ると幹と枝だけの寂しいものです。ところが、つい先日患者さんと庭を散歩していると、そんな木々のアチラコチから若葉や新芽が青々と鮮やかに顔をのぞかせており、荒々しい天候に負けることのない、自然の逞しさに驚かされました。

精神科の医療の現場や家庭では、思いもよらない問題に直面する時があります。時には本人でさえ“もうダメだ”と思う事もしばしばでしょう。そんな時でも私たち医療側の人間は、この木々の新芽の様な明るさと逞しさを見習っていったらと感じました。

さて、今月は平和病院最大のイベント『盛夏祭』が開催されます。今年は8月15日（土）に予定しており、その準備も着々と進んでいます。エイサーや盆踊りといった出し物はもちろんのこと、木々の新芽にも会いにお越しになって下さい。



第27回盛夏祭ポスター

比嘉 創